

松阪市子ども発達総合支援施設のデジタル式電話装置 別紙仕様書

I 機器の仕様

1 交換方式

制御方式 蓄積プログラム方式

通話路方式 時分割PCM方式

2 収容回線数

以下の仕様を満たすこと

種別		初期利用数	最大容量（利用可能数）	
外線	INS ネット 64	0	6 回線 (12 チャネル)	あわせて 12 チャネル
外線	アナログ	0	12 回線	
外線	IP 電話 (※1)	5	12 チャネル	
内線	デジタル多機能電話機	4	30 台	あわせて 30 台
内線	IP 多機能電話機	0	24 台	
内線	デジタルカールコードレス電話機	0	12 台	
内線	コードレス電話機	1 1	29 台	
内線	一般内線 (FAX 用)	2	16 台	
内線	デジタルコードレス接続装置	7	8	

※1 フレッツ光ネクスト回線を直接収容
ひかり電話オフィス A を収容が可能

3 電源装置

整流器 交換機本体に内蔵すること

蓄電池 停電時通話保持用 (3 分間)

4 デジタル電話機 (フルデジタル方式)

(1) 次の機能及び形式を有するデジタル電話機を接続できる本体装置であること。

- ・ 卓上型
- ・ 卓上停電対応型
- ・ 卓上録音型
- ・ 卓上アナログ収容停電対応型
- ・ 卓上 ISDN 収容停電対応型
- ・ 卓上カールコードレス型
- ・ デジタルコードレス

(2) 主な機能

① 卓上型

- ・ ディスプレイ付き (カナ・漢字・英数字)
- ・ 固定機能ボタン : スピーカー、保留、内線、フック、短縮、履歴

- ・ 回線ボタン : 8 個以上
- ・ ワンタッチボタン : 12 個以上
- ・ 回線ボタンとワンタッチボタンの合計 : 18 個以上
- ・ ナンバーディスプレイ対応

② コードレス電話機

- ・ ディスプレイ付き（バックライト付き）
- ・ 回線ボタン : 8 個以上
- ・ 連続通話時間 : 4 時間以上
- ・ 連続待受時間 : 300 時間以上

5 コードレス接続装置

(1) 機能

- ・ コードレスとの通話距離は最大 100m 以上（直線見通し距離）であること。
- ・ センタ給電方式であること。
- ・ 同時に 3 通話以上が可能であること。
- ・ ハンドオーバーが可能であること。

6 電話機等設置台数

(1) 次の台数を設置するものとする。

	設置台数	設置場所
主装置（必要ユニット含む）	1	
デジタル多機能電話機	4	
停電対応型デジタル多機能電話機	—	
コードレス電話機	1 1	
コードレス接続装置	7	
F A X 用単体内線	1	

（コードレス電話機については、事業所用 p h s 電話機も可）

- * 主装置については、必要な回線収容ユニット等を内蔵できるものとする。
また、設置する際は雷害対策を行うこと。
- * 卓上型電話機については、8 回線以上表示できるものとする。
- * 卓上型停電対応型電話機については、8 回線以上表示できるとともに、停電時の発信・着信が可能であるものとする。

II 機器

1 サービス機能

次のサービス機能を満たすこと。

発信履歴、着信履歴、リダイヤル、網番号ダイヤルイン、付加番号ダイヤルイン、個別短縮ダイヤル、共通短縮ダイヤル、不在着信転送、内線代表、内線保留・転送、外線保留・転送、ナンバーディスプレイ対応、通話時間・通話料金表示、ACR 機能
INS ネット 64 収容、ISDN 着番号ダイヤルイン、ISDN 着サブアドレスダイヤルイン、発 ID

通知、料金情報通知、INS キャッチホン対応、INS ボイスワープ対応、INS ナンバーディスプレイ対応、i・ナンバー対応
フレッツ光ネクスト回線を直接収容
ひかり電話オフィスAを収容が可能

Ⅲ その他

1 電話設備の設置

(1) 調整試験

各機器の設定を行い、一つのシステムとして安定動作するように調整試験を行うこと。

(2) 設置工法

設置においては、すべて総務省(旧郵政省)が定める技術水準並びに標準工法によること。
なお、設置材料等は、西日本電信電話株式会社認定品又は同等品以上のものを使用すること。

また、露出配線となる箇所においては、防護が必要と認められる箇所について適宜防護カバーを使用した上で、堅固に配線を行うこと。

(3) 自然現象又は自然災害での落雷対策(※3)として回線(アナログ回線)又は電源部分の防雷措置を行うこと

※3 誘導雷に限る

2 配線設備等

(1) 設置においては、すべて総務省(旧郵政省)が定める技術水準並びに標準工法によること。

なお、設置材料等は、西日本電信電話株式会社認定品又は同等品以上のものを使用すること。また、露出配線となる箇所においては、防護が必要と認められる箇所について適宜防護カバーを使用した上で、堅固に配線を行うこと。

(2) コードレス電話機利用のための接続装置(アンテナ7ヶ所)と主装置設置予定場所の間の配線(2p=4芯)は、建物工事により配線済みである。

(3) 引込柱と倉庫7のMDF間は、地中埋設のFEPが通っており、その中を配線する。倉庫7のMDFから事務室の主装置までの配管は空配管が施工されており、その中へ配線する。事務所の床仕上げは、フリーアクセスフローア仕上げであり、主装置と卓上型電話機間の配線は必要。

3 諸手続き

設置に伴う、西日本電信電話株式会社への手続きについては、請負者が代行することとし、これに要する費用は請負者が負担すること。

*回線の種類「アナログ回線1回線(主装置からの利用ではない)、NTTひかり電話5チャンネル3番号」

4 電話交換設備保守 実施しない

5 入札価格及び支払い方法等

(1) 入札価格

・入札価格(税抜)には、別紙仕様書の全て物品の運搬・荷造費、設置費を記入すること。

- ・即使用できる状態で引き渡すために必要な経費は、入札価格に含めること。

(2) 支払い方法

- ・納入検査に合格した後、請求に基づき30日以内に一括支払とする。

6 その他

- ・納入に伴う施設及び調達品等の損傷、汚損は、受注者の責任及び負担により原状回復すること。
- ・ここに定めのない仕様の詳細については、落札業者決定後、障がいあゆみ課と協議して決めるものとする。
- ・参考資料
 - ①子ども発達総合支援センター平面図
 - ②子ども発達総合支援センター電話設備 配置図